

連載45

そして音楽の旅は続く

世界一周クルーズ船のお仕事!?

活動を始めて3年くらい経ったころでしょうか、ホテルのバーや宴会のお仕事もいただけるようになり、あちらこちらで唄っていましたが、当初はホテルのお仕事の流儀がわからなくて戸惑いました。

メンバーにはJAZZ好きな常連さんもありますし、デート中のカップル、お一人で静かに飲みたい方などがいらっしゃるので、穏やかな雰囲気を大切にしなければなりませんし、パーティーや宴会は、会話を楽しまれている方とじっくり聴いていらっしゃる方がいます。普段のLIVEは聴きにきてくださる方が中心ですが、ホテルのお仕事はさまざまな方が混在しているのです。とても難しく勉強になりましたが、JAZZって面白いなあと思っていました。

LIVEで唄っている同じ曲でも、その場面によってガラッと変わるからです。他のジャンルの音楽では、こんなには変えられないだろうと思うくらい、大きく変化をします。

ジャズ・ミュージシャンの変幻自在な力量や幅の広さに「なるほど!」と納得をしたり楽しんだりしていました。ホテルのお仕事…と書きましたが、実はこういう言い方ってあまり好きではありません。私にとって唄う事



は、どこに行っても楽しいことなので「お仕事」って冷たい言い方が少し嫌なのよね。

ホテルで唄うのも、とっても楽しかった!そんな楽しむ気持ちがクライアントにも伝わったのかな?世界一周クルーズ船のお仕事が舞い込みました。

嬉しかったなあ。私は船で世界一周なんてした事がないのですが、その船は100日ほどかけて、東南アジア→インド→ドバイ→スエズ運河→地中海→ヨーロッパ諸国→ニューヨーク→カリブ海→パナマ運河→サンフランシスコ→カナダ→日本、という感じで廻ってきます。

私は、嬉しいけれど何をするのか分からずにお請けしたので、きっと船のバーで毎日唄うのだろうと勝手に想像して、レパートリー不足に頭を抱えていました。船の中ではお客様が入れ替わらないので、毎日、同じ曲ではダメでしょ。ところが詳細を聞いたら、まったく違っていました。

ジャズボーカリスト

星乃けい

officialwebsite

<https://www.hoshinokei.com>

乗船期間は2週間で、メインのショーを2回というご依頼でした。へーそうなんだー。約100日間、バーで演奏するバンドやスタッフは乗船したままですが、メインショーの出演者は2週間毎に入れ替わっていくのでした。飛行機で船を追いかけて寄港地で乗船し、2週間後にはまた寄港地で下船して飛行機で帰国します。確かに、ショーの出演者が入れ替わらないとお客様は飽きてしまいますよね。そうかそうか、ご依頼はメインショーだったのか…きゃー!そんな大仕事、できるのかしら。



Photo: Yoshiro Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。